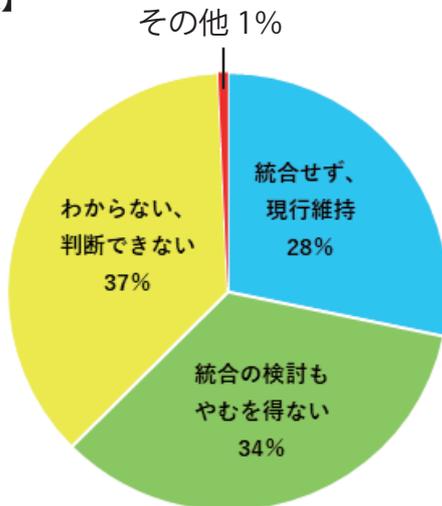


に向けたアンケート調査結果について

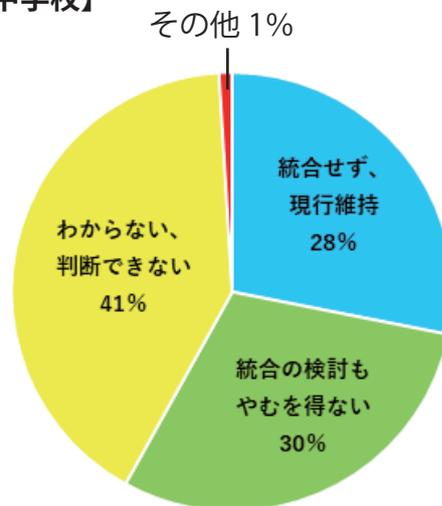
問 学校教育課指導管理係 ☎内線 347

☆児童生徒数が大きく減少していく中、今後の小・中学校の将来像は？

【小学校】



【中学校】



※その他の主な意見【学校選択制、小中併設校、小中一貫校（福島・鷹島）】

●「統合はせず、現行維持」を選んだ主な理由は？

- ・先生の目が届きやすいから
- ・将来の地域人材を育成するため
- ・各町の特徴、伝統を守るため
- ・統合すると通学時間や通学方法の不安がある

●「統合の検討もやむを得ない」を選んだ主な理由は？

- ・人間関係を築く機会が増えるから
- ・同一集団の継続によるマンネリ化を防ぐため
- ・部活動の選択肢が増えるから
- ・P T A役員等の負担が軽減されるから
- ・スクールバス利用により通学が可能だから

●「わからない、判断できない」を選んだ主な理由は？

- ・メリット、デメリットがわからない

●「その他」を選んだ主な理由は？

- ・家から通える場所に学校があることは、ふるさとを大切にしたい気持ちにつながる。一方、大人数は、その中での達成感や自分の存在意義のようなものに気付く機会がある。

【お願い】

市民の皆さんからも、今後の小・中学校の在り方についての意見をいただくため、各地区公民館にアンケート用紙を設置しておりますので、ご協力をお願いします。

アンケート用紙は市ホームページよりダウンロード可能です。

《アンケート実施期間：8月1日～31日》

本アンケートの詳細版を各地区公民館に設置しています。
また、市ホームページや右記QRコードの読み取りからも閲覧可能です。



「少子化に対応した活力ある学校づくり」

松浦市教育委員会では、第2期松浦市教育振興基本計画にもとづき、今後、人口減少・少子化が進む中、どのように教育水準を維持し、活力ある学校づくりを行っていくのかを、地域とともにある学校づくりの視点も加え、検討していくための基礎資料として、保護者を対象としたアンケートを実施しました。その結果を一部抜粋して、お知らせします。

なお、今回の保護者アンケートに加え、市民の皆さんの意見をいただきながら、今後、「少子化に対応した活力ある学校づくり」のための方策を検討していきます。

【調査対象者】 市内小学校・中学校・認定こども園・保育所（園）保護者

【調査期間】 2月12日（金）～26日（金）

【配布総数】 1,648部 回収数：1,205部（73.1%）

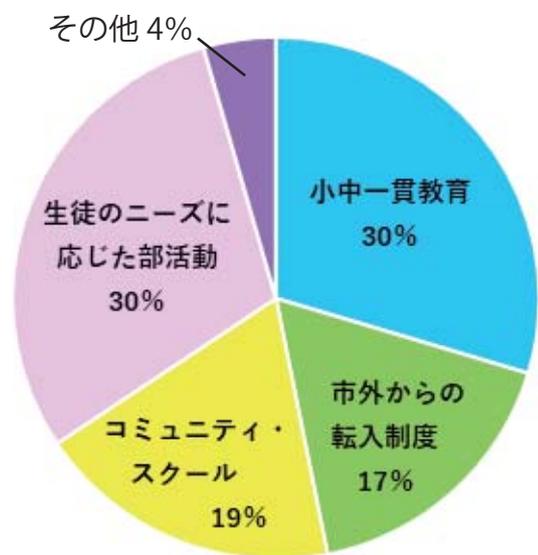
○学級数（児童生徒数）の少ない学校の「よい」と感じるものは？

- ①先生が目が届きやすく、きめ細かな学習指導・生徒指導を受けることができる（31%）
- ②学年を越えた全校活動がしやすく、上級生や下級生との交流の機会が多い（23%）
- ③個々の役割や活動の場が増え、責任感を育てやすい（22%）
- ④ゆとりや安心感のある家庭的な中で、子どもを育てることができる（10%）

○学級数（児童生徒数）の多い学校の「よい」と感じるものは？

- ①クラス替えがあり、新たな人間関係の構築や幅を広げることができる（24%）
- ②クラブ活動や部活動の種類が多く選択の幅がある（22%）
- ③競争意識が生まれやすい（17%）
- ④様々な役割や多様な考えに触れる環境の中で、子どもを育てることができる（13%）

○活力ある学校づくりのためには？



その他の主な意見
・オンライン交流
・小規模校同士での行事

※コミュニティスクール

学校・保護者・地域が力を合わせて学校運営に取り組むための仕組みを導入した学校のこと